

あうとのみあ

地域・地元根ざす
公立中高一貫校受検
中学受験・高校受験の

So You!
早友学院

あうとのみあとはギリシャ語で自立を意味し、早友学院の指導理念を象徴することばです。

がんばりました！ がむしゃらな学習の夏

今年の夏も連日の猛暑が続くなか、早友学院の夏期講習にたくさんの児童・生徒が参加し、涼しい教室環境の中で、学力強化や志望校合格をめざす“がむしゃら”な学習プログラムに“熱く”取り組みました。

ところで、“がむしゃら”とはどのような意味でしょうか？手元の辞書を調べてみると『血気にはやり向こう見ず』であることとか、『むちゃくちゃに振る舞うこと』とでています。そして、この言葉を漢字表記すると我武者羅と書きますが、これは後世の当て字で、言葉の由来は、我無性（がむしょう）や我貪り（がむさぼり）から発音が転じていったとされています。興味のある人は広辞苑で調べてみてください。何か気づいたことがあったり、わからないことがあったら、インターネットの検索にたよるのではなく、辞書を引いたり文献を調べたりする寄り道も学習の可能性を大きく導き出し、知識の扉を広く開けてくれるきっかけになるものです。

余談になりましたが、がむしゃらな勉強（つまり、理屈をつけずにめっちゃくちゃ



に取り組む勉強）と寄り道する勉強は自分の視野を広げる意欲的学習の両輪となるものです。では今年の夏、学院生は何のために、“がむしゃら”に学んだのでしょうか？お母さんやお父さんに勉強しなさいと言われたからでしょうか？はたまた、だれにも負けない成績のよい子になりたかったからでしょうか。

そうした考えが少しはあったかもしれませんが、学院講師達が学院生から感じた熱気の多くは、目標に向かって苦手を克服することや、より多くを学びたいという向学心です。それは他人との競争よりも、自分自身と向き合う勇気であり、自分自身を昨日よりも、今日よりも、明日はもっともっとピカピカに磨き上げよ

うとする意気込みです。

人間はだれでも怠け者の側面があり、手入れをせずにほったらかしにするとすぐ錆（さび）つきます。今年の学院生は夏期講習を通じ、そうした錆とりがしっかりできたと思います。つまり、受験生それぞれは、まだまだ自分は自分にチャレンジできるという自信を実感しているはずです。自信というものは自分の達成感に裏打ちされているものですから、単なるおまじないとは異なる『底力』です。

というわけで、我々学院講師一同は、来年の志望校合格に向けて受験生各自がよいスタートを切ることができたと確信しています。

早友学院 学院長 高久 富司夫

小2プレ脳育授業 開講

「小3脳育授業のエッセンスを凝縮し、たのしく知能を伸ばす」をコンセプトに、現小学2年生向け講座として「プレ脳育授業」を開講する運びとなりました。

「ことば遊び・なりきり作文・パズル系算数・計算力強化」といった脳育授業を小学2年生向けにアレンジし、スムーズに「小3脳育授業コース」へ進んでいけるような内容となっております。

授業料、その他費用を無料とさせていただきますので、ご興味ある方は、元気にた

のしく伸ばす『早友流』をぜひ体験してください！

会場 早友学院 全教室

費用 無料

日程 12月より順次開講します。

※詳細はホームページ等にてお知らせします。

お申込み 早友学院ホームページの申込みフォームからお申し込みいただくか、申込書をお教室にご提出ください。



模試の活用・注意事項

ハードな夏期講習に取り組めたことで、学院生個々の学習に対する自信が少しずつ現れる時期が2学期です。それを実感できるようにするため、学院では日常のチェックテストをはじめ、各種模擬試験、様々なテストを行ないます。

テスト後の取り組みとして、結果を分析することが重要です。解答に失敗した項目こそが取り組む課題です。とことん活用し、さらなる学力向上に役立てましょう。

<テスト後には解き直しを>

テスト後に行うべき最も大切なことは、“解き直し”です。そして解き直しには以下のような3つのポイントがあります。

- ①できない問題
- ②もう少しでできる問題
- ③ケアレスミス

これら3項目のうち優先すべきは、②と③です。特にケアレスミスにはしっかり注目すべきです。「ケアレスミスだから次はできる」と考える学院生がいますが、ケアレスミスは何度でも起きます。これを解決するには、どのような箇所“うっかり”してしまうのかを、解き直しの過程で、よく確認することです。

<解き直しは一度だけ?>

いいえ!まず、最初に間違えた問題を解き直したら、一日後にまた同じ問題を解き直し、さらに一日後にまた同じ問題を解き直すといった繰り返しが必要です。というのも、24時間以上経つと、一回きりの体験は長期記憶とはならず、短期記憶として、脳から消去されていくからです。

同じ問題を繰り返し解くことは子供にとってはひどく退屈なことですが、このような地道な作業を学習習慣化することが、成績向上にとっては不可欠です。

<ご家庭の皆様へ>

受験学習では小さな成功体験の積み重



ねが自信につながります。ですから、良い点数をとったら、本人以上に喜び褒めてあげましょう。そして、点数が悪かった場合には、良いところを見つけて応援してあげましょう。悪いところではなく、良いところだけに着目するのは難しいですね。ですが、我が子の小さな努力を見落とさない気遣いが大切です。そして、失敗から学べるよう、問題の解き直しに手を貸すことで、親子が一緒に、間違いの原因に気付くという形の感動を共有することも有効な学習指導になります。

中学生テスト対策について

自修会活用、内申書アップに塾を利用しよう!

早友学院では、各生徒の志望校合格に向けた指導をおこなっています。志望校合格を勝ち取るためには、高い内申点を取るとともに、基礎から応用まで対応できる学力を身につけることが必要となります。公私ともに充実した日々を過ごすとともに、志望校合格に必要な学力を養っていかねばなりません。

高い内申点を取るためには、①定期テストや各教科の小テストで高得点を取ること、②課題(提出物)を期限内に提出すること、③授業態度(授業をしっかり聞く、積極的に発表する姿勢)が肝要です。

定期テストで高得点を取るには、計画的な学習が必須となるため、早友学院では事前に策定した学習計画を遂行する場として「自修会」を提供しております。ご自宅ではテレビやゲーム、動画配信サービスなどの様々な誘惑が存在していますが、早友学院の自修会では誘惑も無く、周りも勉強している人ばかりなので、「自分も頑張る

う」という気持ちになれます。

また自修会を利用する際は、事前に学習計画を策定しましょう。具体的には○月○日は教科書の○ページから○ページ、○月○日はワークの○ページから○ページという具合で学習計画を策定し、自身が策定した学習計画を遂行できたかを振り返りましょう。学習計画の策定に慣れていない場合は、無謀な学習計画となることが多いため、学習計画の振り返りは必ずおこなしましょう。テスト範囲の問題を最低3回は解けるように学習計画を策定しましょう。

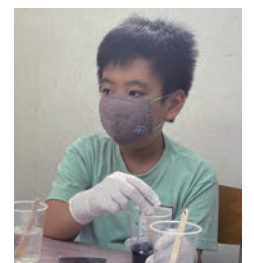
定期テストに出題される内容は、授業で習ったことが中心です。先生が授業中、特に強調したところや繰り返し説明したところ、板書でチョークの色を変えたり、線を引いたり、○で囲んだりしたところは(ノートに写すときも同じように、色を変えたりマーカーで囲んでおくこと)授業後に必ず復習しましょう。また、テスト前に先生がもう一度説明したところも重要です。テストに出やすいところなので、注意しましょう。

また、ワークなどの課題は学習内容の確認作業の一貫です。自らの知識の確認という意味でしっかり取り組んでください。現在習っていることが高校入試に直結しているということを念頭に、定期テストにも力

を入れましょう。

「やらされている」という受身の姿勢から「自ら進んで行う」という自立の姿勢を自修会で養い、実力を付け志望校合格を勝ち取りましょう。ご家庭の皆様におかれましても、ご協力お願いいたします。

夏期講習小5サイエンス授業



夏期講習を終えて

K・S 夏期講習の国語の授業で、相互採点というものを毎日行いました。これは、生徒で自分たちの書いた作文をまわし、採点するというものです。名前がわからないため、作文の間違えを全員がストレートに書き、紙がその言葉でうめつくされることもあります。私は、返ってきた自分の作文を見て、作文の欠点を直し、よりよいものにできました。この採点の仕方によって、作文を書く技術は上がったと思います。算数の授業では、苦手分野である図形の一つの立体の分割ができるようになりました。先生が一つ一つをていねいに教えてくれたり、コツなどを教えてくれたからです。

今後、私は、苦手分野の図形とパズルを克服したいと思います。そのために、過去の問題を解き直し、分からない問題は、先生にきくなどをしてがんばりたいと思います。そして、しっかりと準備をした状態で、2022年9月23日金曜日にある第三回公開模試にのぞもうと思います。

S・R 今回、小学6年夏期講習・算数特訓を終えていつもとは違った勉強に取り組むことができました。立体の分割は苦手な問題なので苦戦しましたが、速さや割合ではスムーズに問題を解くことができ発展問題などにも挑戦することができました。苦手な部分でも先生方の指導のおかげで以前よりも楽に解けるようになれました。国語では読解のポイントを教えていただいたり作文を他の人と採点するなど今までにないことを行うなどし、少しは成長できたかと思えます。

受験まであと半年をきりました。受験では今までとは比べものにならない程難しい問題がでてくるかもしれません。ですが、算数特訓で行った問題や今度の夏期講習で学んだこと、今までの積み重ねが問題を解くかぎになっていくと思います。これから先、夏期講習や算数特訓で学んだこと、今までの学習の復習を行いながらも新しい問題や難しい問題などにも取り組んでいきたいと考えています。受験当日まで勉強に一生懸命取り組み、全力をつくせるよう努力していきたいです。

O・H 夏期講習を終えてできるようになったことは、苦手な算数の問題を積極的に取り組んだことだ。以前までは難しそうなお問題は見た目で判断して手をつけていない問題もあったが、現在は難しい問題に手をつけて、分からなかった問題は、なぜ間違えたのかを分析してその類似問題に取り組んでいる。

できなかったことは算数の二酸化炭素の排出量を求める問題だ。とても難しくコツをつかめずテストに入ってしまった。次回からはもっと勉強時間を増やして、苦手な問題に向き合おうと思った。

I・S 私が夏期講習中にできるようになったことは、きちんと復習をすることです。夏期講習中は、家に帰ったらすぐに復習をするということを実践するようにしたこと、習慣にすることができるようになりました。

できなかったことは、音読暗唱教材をやることです。一学期から課題になっていることですが、毎日やることができず、暗記することができていないので、復習することと同じように習慣にしていきたい、暗記ができるように毎日少しでもやるようにしていきたいです。

二学期では、復習することをもっと効率よくしていき、授業のノートをしっかりとしていきたいです。復習などで解けなかった問題なども、先生に聞いて、分かるまで何回もくり返していきたい

と思います。次の模試などでしっかりとよい成績をとり、とれなくても、すぐに復習し解けるようにしていきたいです。また、夜おそくまで勉強するのではなく、朝早く起きて勉強するようにしたいと思います。

M・M 私は、夏期講習を終えて自ら復習をすることができるようになった。以前までは母親にやれとつこく言われてやっとやっていたため、内容が頭に入らず意味のないものになっていたが、夏期講習中は自ら復習をすることにした。すると内容が頭に入るようになり、テストでもうめられるところが増えた。

反省点としては、復習をするようになったはいいものの、内容が薄かったことがあげられる。今回の復習は面倒という理由であまり問題に手をつけられなかった。そのため、テストのうめられないはんいを0にできなかった。このことを教訓にして、今度からはしっかりと問題をとこうと思う。

二学期では、過去問も始めるのでいそがしくなるが、休日等に時間をつくって復習をしっかりしていこうと思う。夏期講習でできたことはそのまま続け、反省点は改善していくことで二学期でさらに力をつけていきたい。

K・C 今回、夏期講習を受けて私は一学期不安だったところや心配だったところの復習をすることが出来た。

例えば、数学の一次関数・連立方程式の利用だ。連立方程式の利用では、割合の場合、値段の場合、食塩水の割合を求めるなど、問題にあった式の立てかたを先生から学び、それを利用することで問題への苦手意識が減り、不安だと感じることは無くなりました。

英語でも、同様に単語を覚えたり、夏休み中に苦手な事のこくふくが出来てよかったです。

W・K 読解では、自分で要約をしたので、文章の構成が分かるようになってきたと思います。ですから、筆者が伝えたいことがどこにあるのかが分かるスピードが上がったと思います。

算数では、苦手な単元がいくつかありました。その解き方を改めて理解したので、また出た時には答えが出なくても解き方はわかるようにしたいです。

夏の頑張りで結果が変わると言われているので、結果が楽しみです。残りの5、6か月を頑張ります。

H・T 夏期講習をふり返って色々なことを学びました。国語のどっかが難しかったです。どっかいは、その主人公の気持ちとか、相手の気持ちとかを考えるのが一番難しかったです。算数では、うえきざんが難しかったです。うえきざんは、木と木の間とか、全部でなんメートルとかもとめるのが難しかったので勉強になりました。これからも勉強にはげんで難しい勉強もできるようになりたいです。

S・S ほくは、夏期講習でサイエンスが一番に残りました。サイエンスでは、材料を組み立てて電気のめいろを作ったり、台紙をわっかにして紙リングひこうきを作ったりして遊んだりしました。

なぜサイエンスが心に残ったかということ、幼稚園の時に工作が大好きで最近では、やっていなかったのもた何か作ることができて楽しかったからです。またサイエンスのじゅ業をやりたいなと思いました。

M・N 私は、夏期講習で国語は作文を、算数は色々な問題の解き方を中心に勉強しようと思っていました。夏期講習は、受験に向けて大切な期間だったので自分の苦手なことに沢山挑戦しようと考えていま

した。

夏期講習初日から三日くらいまではあまり思った通りに算数がうまくなかったけれど、だんだん後半になるにつれて慣れてきました。そして、作文は相互採点をすることによって作文を客観的に見る事ができました。また、色々な人にコメントを書いてもらうことで次の日に生かして、さらに良い作文を書くことを意識しました。

今年の夏期講習では、作文や読解のコツをつかめました。夏期講習試験でもそのコツを意識して問題を解きました。算数は、解き直しを行ってさらに理解していきたいです。また、これからもっと本格的に受験勉強をする中でこの夏期講習で学んだことを大切にしたいです。そしてこれからの勉強にも取り組んでいきたいです。

N・A 僕は、今まで割合が苦手だった。割合を考えると頭が混乱してしまう。くらべる数やもとの数などが入り混じり、どちらをかけるかわるかいつもわからなくなった。

夏期講習でも、やはり割合の授業があった。夏期講習では、毎日その日の復習などのために、授業が終わった後残って自習していくようにしていた。自習するときに、その日の復習の他に毎日少しは割合を行うようにした。さらに、割合は倍と同じだと考えると、割合がだんだんとわかるようになっていった。数がパーセントや歩合でしめされていたとしても、割合に直せばかんたんだった。今までは、割合をむずかしく考えすぎているのかもしれない。

割合をむずかしく考えすぎないことで、割合が自分の中でかんたんになった。だから、これから出てくるであろうむずかしい数学なども、あまりむずかしく考えすぎないで解いていきたい。また、今回習得した割合も、しっかり答えられるようにしていきたいと思う。

季節の行事



来年度受験について

【中学受験情報】

《公立一貫》

各学校のHPに募集要項が発表されています。そちらを見た限りでは大きな変更点はないようです。東京都教育委員会のHPでは主な変更点として以下のことが挙げられていますので、お知らせいたします。

- ・出願の仕方として簡易書留であったものが特定記録郵便に変更。(特別枠と一般枠)
- ・得点開示に「東京共同電子申請・届出サービス」という電子申請が可能となった。
- ・報告書の記載事項から出欠の記録を削除する。
- ・願書の記入事項から性別を記入する欄を削除する。

性別が記入事項から削除されますが、募集要項の繰り上げの項目には男女の別が記載されていますので、男女の枠を廃止することは、少なくとも来年度入試ではなさそうです。9月の「令和5年度東京都都立高校入学選抜検討委員会報告書」では、性別記入を廃止する理由を、「男女の性別を受験者に記入させ

ることで、受験者に心理的負担をかける状況が生じることもあるため、入学願書における性別を記入する欄は削除する方向で検討を進める。」とあり、それがそのまま採用されたように思われます。出欠日数についても、受験・選考に必要な項目であるということで削除されたようです。

《私立中学》

コロナ禍が続き、私立中学入試への回帰も見られます。中堅校の人気も高まり、難化傾向を見せる学校も多くあります。積極的に情報を集めるようにしてください。説明会もオンラインでの個別相談などもありますので、参加するようにしてください。

【高校受験情報】

《都立高校》

東京都教育委員会のHPに日程表が掲載されています。昨年と比較した場合、出願方法がインターネット出願に統一されました。インターネット出願に必要なアカウントを取得する必要があります。そして出願サイトへ出願情報を登録します。(志望学科・住所・氏名等) また、顔写真も登録します。登録情報については所属中学校でも確認(必要があれば修正)されます。その後入学考査料の納付を行います。クレジットカード払いにも対応する予定だそうです。

その他の出願必要書類は郵送です。受験票はダウンロードしなければなりません。自宅のプリンターもしくはコンビニで打ち出します。(この時都立高校からのお知らせも確認必要) インターネットが使えない場合は別途対応の案内があります。(8月の段階での発表で変更の可能性あり) 取り下げ・再提出も可能です。

インフルエンザ等での欠席は追試験の受験が可能です。コロナでも同様です。万一罹患した場合でも悲観することはありません。合格は専用の合格発表サイトで発表されます。

《私立高校》

コロナ下で、人気が高まる私立高校が増えています。大学付属人気も最上位校ではなく、中堅校を中心に人気が高まっています。学校説明会や個別相談を利用し、確かな合格ができるように情報を収集してください。特に推薦利用が中心となりますので、推薦基準に達するように必要な成績数値や検定対策など秋には体制を整え終わるようにしてください。検定にはCBTを利用する手段もありますので、会場受験・準会場受験が間に合わないようでしたら、活用を考えましょう。一般入試では過去問研究を怠らずに、傾向にあった対策をしてください。詳細等は教室担当者にご相談ください。

執筆：新小岩教室長 依藤 聡